こんにちは 加藤ひろしです

第85号

私の活動地域
晴海・勝どき・豊海町
築地・浜離宮庭園

くらしや区政のご相談
お気軽にお電話ください
３５５１－６８２０（事務所）
３５３３－０５８３（自宅）

日本共産党中央区議会議員

私のブログもご覧ください『こんにちは加藤ひろしです』で検索！

豊洲新市場　強引な開場に〝待った〟
移転は中止し、現在地で再整備を

小池百合子都知事は８月３１日、豊洲新市場の開場日を（１１月７日）を延期すると記者会見で発表しました。

市場問題プロジェクトチームを設置し、安全の確認や市場施設の改善を検討するとしましたが、いつまで延期するか言明しませんでした。それに伴い築地市場の閉鎖と解体工事も延期します。豊洲地区はもともと有害な化学物質によって高濃度に汚染されていた東京ガス工場跡地です。巨費を投じて汚染対策工事を実施し、その有効性を確認する最終検査結果が出る来年１月を待たずに、開場を強行する予定でした。

小池知事は、開場の延期の理由について①安全性への懸念、②巨額で不透明な費用の増加、③情報公開の不足の３点をあげました。

ズサンな土壌汚染対策
発がん性物質ベンゼンが建物内に流入？

安全性の問題では、環境基準の４万３０００倍もの発がん性物質ベンゼンや８６０倍もの猛毒のシアン化合物など、国内最大級の土壌汚染が分かり、市場関係者や都民からは「食の安全・安心を守れない」と強い反対の声があがりました。しかし石原都政は新市場計画を強引に推進、猪瀬、舛添両知事も，計画を引き継ぎました。11月７日の開場を決めたのは舛添要一前知事です（裏面「築地市場の移転をめぐる主な動き」参照）。東京都は、豊洲新市場について、食の安全が確保されているとしていますが、施設内からＷＨＯのガイドラインを越える濃度のベンゼンが検出されたことが明らかになりました。

膨れ上がる新市場整備費　当初の１．５倍にも

整備費が５８８４億円に膨らみ、中でも施設建設費が９９０億円から２７４７億円へと３倍近く増えていることや、建築坪単価が約２２０万円に上り、同様の構造の建設費の適正単価約５０～６０万円と比べて高いことをあげました。

新市場整備費が大きく膨れあがり、業者への負担増加が心配されます。東京都はいまだに新市場の使用料や水光熱費など負担がいくらになるか示していません。東京都が移転を急ぎたいのは、２０２０年東京五輪・パラリンピックのためと称して築地市場を解体して通す大型道路、環状２号線の計画があるからです。（裏面に続く）

上は豊洲市場予定地、下の表は工事費の変化

項　目	2011年⇒	2015年
建設費	990億円⇒	2,752億円
土壌汚染対策費	586億円⇒	849億円
用地取得費	1,980億円⇒	1,859億円
関連工事費	370億円⇒	424億円
新市場整備費	3,926億円⇒	5,884億円

築地市場移転反対・現在地で再整備を

日本共産党中央区議団ニュース

2016年9月上旬号　中央区築地１－１－１
電話３５４６－５５６３，ＦＡＸ３５４６－９５７０

各売り場が巨大道路で分断
新市場は課題山積

新市場の「効果的な物流」では、各売場が道路で分断、重層化し荷物の上下動が増えるなど構造的な「欠陥」が指摘されています。交通アクセスは貧弱で、幹線道路は渋滞の不安があり、鉄道は「新交通ゆりかもめ」しかありません。

さらに床の耐荷重は1平方メートル700キロしかなく、鮮魚を運ぶターレーやフォークリフトの積載量が制限されることや仲卸店舗の間口が1・4メートルと狭くてマグロ包丁（最長約1・5メートル）を使うのが困難といった使い勝手の悪さのほか、建物の耐震性能への疑義も指摘され、課題は山積みです

「食の安全・安心」を守るために

東京都は、山積みする問題について、情報を全面的に公開し、抜本的な検討を行う必要があります。問題の解決には多くの時間と、更なる費用がかかります。

豊洲新市場建設は、東京都が市場関係者や消費者・生産者の批判や不安に耳を傾けることなく強引に進めてきた結果です。全ての責任は東京都にあります。

今こそ豊洲への移転を中止し、築地で再整備を行うべきです。

私（加藤博司）は、「食の安全・安心」を守るために、これからも築地市場の現在地での再整備に向け全力を尽くしていきます。

左表は「東京民報」2016年9月11日号より

築地市場の移転をめぐる主な動き

88年		築地市場の現在地での再整備計画を策定
91年		現在地再整備工事に着手
96年		再整備工事が中断
97年		計画の見直し・再検討
99年	9月	石原知事が市場視察後「古い、汚い、危ない」と発言
2001年	1月	東京ガス、豊洲地区は有害物質で汚染と公表
	12月	都が整備計画で豊洲移転を明記
05年	4月	整備基本方針で12年開場を目途に新市場開場を明記
07年	1月	**共産党村松みえ子都議が都議会で東京ガスの土壌入れ替え対策について液状化の危険を指摘。調査箇所も土壌汚染対策法より粗いと批判**
	3月	東京ガスが豊洲の土壌対策完了
	4月	石原知事が都知事選で豊洲の再調査を表明
	5月	都が土壌汚染対策の「専門家会議」設置
08年	5月	約1500カ所から環境基準を超える有害物質。ベンゼン最高4万3千倍、シアン化合物は最高800倍
	7月	「専門家会議」報告書提出
	8月	都が「技術会議」設置
09年	1月	**共産党都議団　都による高濃度の発がん性物質「ベンゾ（a）ピレン」の汚染情報隠しを指摘。全データ公表を申し入れ**
	2月	土壌汚染対策を公表
	9月	都議会に築地市場移転・再整備の特別委を設置
10年	4月	**共産党都議団　都の「安全宣言」根拠のデータ隠しを告発**
	10月	都議会が築地市場移転の特別委の議論継続を決定
11年	3月	**共産党都議団　東日本大震災2日後、豊洲の90カ所で液状化を確認**
	3月	東京ガスと豊洲市場予定地の土地売買契約を締結
	10月	土壌汚染対策工事を開始
13年	12月	**共産党都議団　技術会議の「安全宣言」撤回と土壌汚染対策法に基ずく2年間のモニタリング調査実施を申し入れ**
14年	2月	豊洲新市場の建設工事を開始
	11月	土壌汚染対策工事の完了を確認
15年	7月	開場日を16年11月7日に決定
16年	8月	小池百合子知事が就任
		共産党都議団　開場日の撤回、移転の抜本的再検討を小池知事に申し入れ
		知事が築地市場の移転延期を表明